



No.699 令和2年10月1日

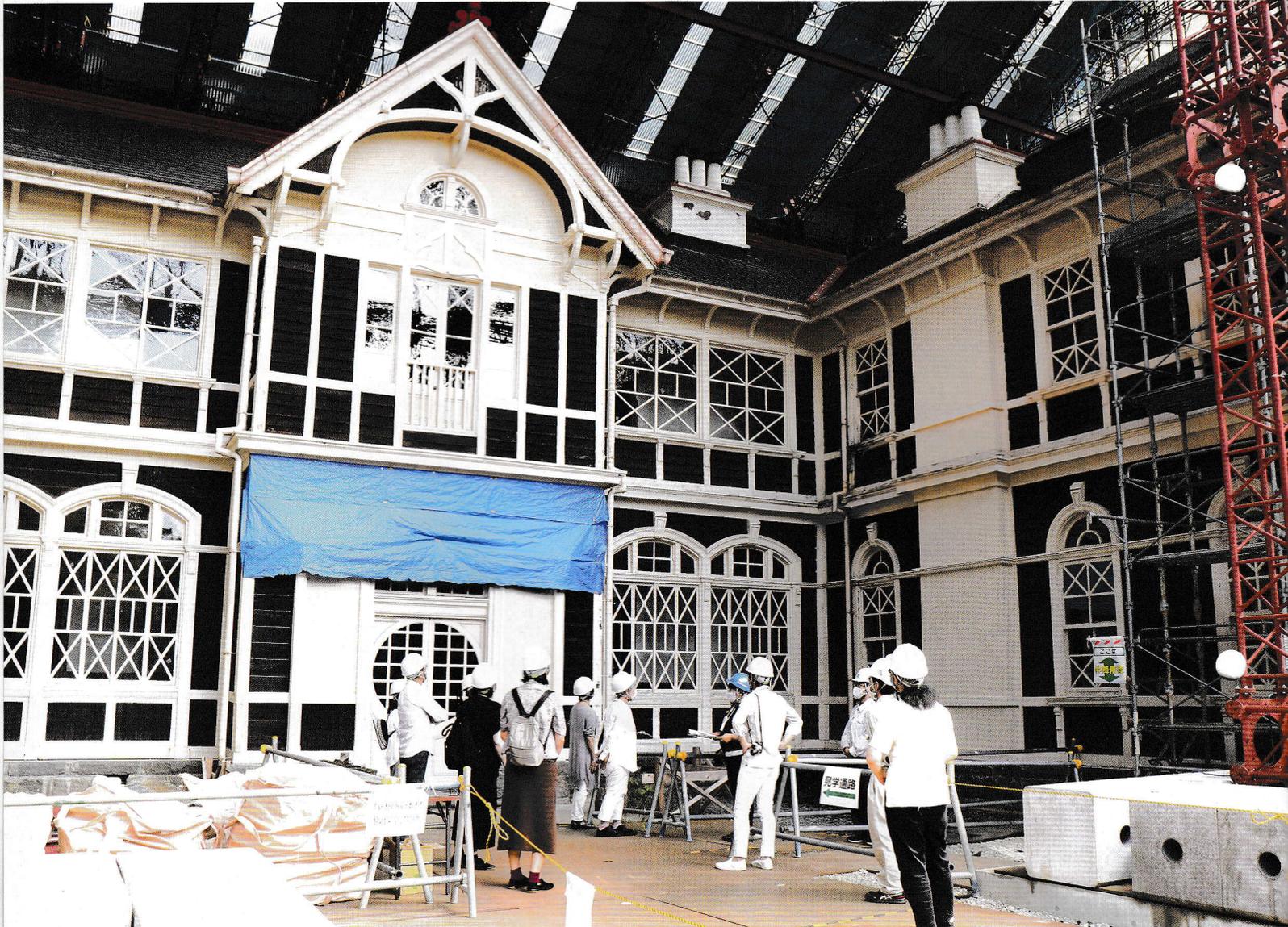
広報 かるいざわ

— わたくしたちのまち —

		前月比
人口	20,818人	(+38)
男	9,917人	(+12)
女	10,901人	(+26)
世帯数	10,203世帯	(+14)

— 住民基本台帳9月1日現在 —

毎月1日発行 軽井沢町 〒389-0192 電話0267-45-8111 ファックス46-3165
ホームページアドレス <https://www.town.karuizawa.lg.jp/>



8月29日 重要文化財・旧三笠ホテル保存修理現場の特別公開が行われました。

【主な内容】

- 補助制度のご案内……………p7
- 高齢者インフルエンザ予防接種のご案内……………p10
- 軽井沢ファイト商品券を配布しました……………p19
- 教育委員会だより……………p28

月号

軽井沢病院からのお知らせ

●来院される方へお願い

ご自身やご家族、身近な人の中に次の症状のいずれかに該当する方がいる場合は、必ず来院前に佐久保健所（☎0267-63-3164〈24時間対応〉）または軽井沢病院へ電話で相談してください。

- ①発熱、かぜ症状、倦怠感（強いだるさ）、呼吸困難（息苦しさ）、味やにおいを感じない、など新型コロナウイルス感染症に該当する症状があった、または現在症状がある。
- ②新型コロナウイルス感染症流行地域への往来があった。
- ③新型コロナウイルス感染者と濃厚接触があった。
- ④仕事や旅行で国外に渡航した。
- ⑤①から④に該当する方と濃厚接触があった。

※軽井沢病院では正面玄関前のテントにおいて、来院者全員の方を対象に検温と症状、行動歴等を確認しています。

※感染拡大防止のため重要な確認事項となっているため、ご協力をお願いします。

《病院職員募集》

●随時採用

〔会計年度任用職員〕

募集職種

看護師
看護助手

（介護福祉士、介護職員初任者研修修了者またはヘルパー2級資格取得者）

各複数名

各資格を有する方

募集人員

募集要件

募集期限

休暇

次有給休暇のほか特別休暇

があります。

給料

・看護師

204、900円から

219、700円まで

・看護助手

151、500円から

189、300円まで

各種手当

通勤手当、時間外勤務手当、

期末手当、退職手当（対象

条件あり）、特殊勤務手当

その他

※配属先により勤務時間が異

なります。

※その他詳しい条件等につい

ては、問い合わせしてくだ

さい。

【問い合わせ】

軽井沢病院

☎45-5111

稲葉先生のおはなし①

今号より全18回にわたり、総合診療科医長の稲葉医師による連載が始まります。

医療現場では、体や心のことで困っている方々の力になりたいと思いつつ、日々の診療をします。人の体は極めて多様です。多様性と共通性を知るために、体や心、たましい、いのち、について、本質や歴史を学ぶようになりました。学びながら感じることは、根底にある「いのち」の力の存在です。それは調和とも、愛とも、美とも表現できます。

私もあなたも、いま、生きています。生きている状態が、途切れたことはありません。起きている時も、寝ている時も、いのちは連続し、つながっています。「いのち」という調和を保つ力があるからこそ、体はバラバラに分解されず存在しています（それは生と死の違いとも言えるでしょう）。一般的に、物質はエントロピー（乱雑さ）が増大する方向に行く、と言われます。水がこぼれるともう戻らないように（『覆水盆に返らず』）。ただ、そこには例外があります。

す。それは「いのち」の営みです。いのちは、一定の秩序や形を保つ方向へと働く、バラバラにならないような力が働きます。いのちの力は、自然界・宇宙界でも極めて特殊な存在です。調和を保つ存在として、「いのち」は自然界の中で特別な役割が与えられているようです。

いのちの力が働くのは、人間だけではなくありません。動物も植物も虫も菌も・・・、宇宙的な時間と空間の中で貫通しています。宇宙にいのちが誕生し四十億年近く経ちますが、いのちのつながりは一度も途切れたことがありません。いのちの流れは、数十億年の規模で続いている宇宙的なプロジェクトのようなものです。体の中心には、お臍があります。古来の心身技法で「丹田」として大切にされている場所（トポス）でもあります。お臍という体の中心に「いのちのつながり」の証拠が刻印されていることも、偶然ではないでしょう。

人は、生まれてから死ぬまで、一瞬も自分の体や心と離れることはできません。両親も恋人も親友も大切な存在ですが、そこには出会いや別れがあります。ただ、自分の体や心だけが自分の人生の中で一瞬も途切れることなく一緒にいるはずなんです。生まれた瞬間から体や心は当り前のよう

に与えられていますから、当たり前すぎて体や心という人生の伴走者を大切にすることを忘れることが多いのです。最も大切な存在にこそ、日々ねぎらいの言葉や感謝の言葉をかける必要があるのではないのでしょうか。

人の体には六十兆個の細胞がありますが、無駄なものはいつもありません。すべては役割の違いです。それぞれの細胞や臓器は、体や心という全体性の調和のため動いています。社会のあり方も、体の知恵から学ぶことは多いです。右手と左手、頭と体とが争うのではなく、全体の調和のために役割を全うして協力する必要があります。

「いのち」は誰にでも備わっているからこそ、無限にくみ取ることができる泉のような場所ではないでしょうか。

軽井沢病院 総合診療科医長

稲葉 俊郎

